



# Shiranuka

No.138



未来は  
僕らの  
手の中

〔白糠高校総力特集〕



白高生、現る

〔議会傍聴感想文〕 白糠高等学校3年生

白高生、社長になる

〔傍聴席から〕 盛内文雄さん



未来は  
僕らの  
手の中



「白糠高校特集其の壱 特別寄稿」  
**白高生、議長になる**  
文：白糠町議会第14代議長 富田忠行

議会と町が白糠高校の魅力化に取り組んで一年。この間、さまざまな観点から議論を重ね、支援策も講じてきましたが、今年度の入学者数は目標としていた二学級の定数に満たない29名に留まりました。

生徒が集まらなかった要因については、支援策の魅力やPRが不足していた事、生徒が学力以外での部活動等を優先した事等様々な事由が考えられ、今後その解決に向けて取り組んでいかなければなりません。まずは来年に向けて議会が今できることを考え、議会だよりにおいて昨年に続く三回目の白糠高校特集を組むことといたしました。

在校生の頑張りや今後の取り組みを理解いただくとともに、現役の中高生やその保護者の方々には、白高生は議長にだって、社長にだって、何者にだってなれる未来があることを感じていただきたいと思います。

— 未来は僕らの手の中

**Contents**

P3 白高生、**議長**になる  
[特別寄稿] 富田忠行

P4 白高生、**現る**  
[議会傍聴感想文] 白糠高校生

P20 白高生、**社長**になる  
[傍聴席から] 盛内文雄

P22 白高生、**300円引き**  
[しらぬかい店こんな店] 貴州屋

北海道白糠高等学校  
〒088-0323 北海道白糠郡白糠町西4条北2丁目2-8 TEL01547-2-2193 FAX01547-2-2826  
E-mail:shiranuka-shghokkaido-c.ed.jp 公式ウェブサイト http://www.shiranuka.hokkaido-c.ed.jp/

去る8月9日の臨時議会において議長に就任しました富田です。

議長就任の挨拶に併せて、今号は白糠高校特集という事ですので、私の高校時代の事についても少し触れてみたいと思います。今これを読んでいる私の同級生は「いや、触れない方が良さだろう」と思っているかもしれませんが、

実は私、白糠高校のOBです。在校していたのは遥か遠い昔の昭和40年代。当時はとにかく生徒数が多くて、成績

優秀な生徒の中には国立大学に進学する者もいましたが、そうでない生徒の中には答案用紙を驚きの白さで提出する者もいるなど、学力の差は今よりも相当大きかったと記憶しています。ちなみに私は自分で言うのもなんですが、結構できる方でした。「思い出は美化されて綺麗なものだけ残る」ようですね。

正直に話しますと、勉強よりもどちらかと言うと部活動や遊びの方に夢中だったような気がします。高校生ともなると色々な事を教えてくれる

先輩や同級生がいて、刺激的なそちらの方についていける力が入ってしまったのですが、当時は今と違っておおよそかな時代でしたから、先生も多少の事には眼をつぶってくれたり、時には一緒に遊んだりもしていました。

今考えると、学校の勉強は当然必要な事ですが、生きていくためには勉強以外の大切な事も当然あって、そのほとんどを自分は高校時代に学んだような気がしますし、その時に学んだ事が今の自分の礎

これから学力の向上に力を入れていく白糠高校です。大きな声で言えませんが、私、そもそも地声が大きいです。

高校の話が長くなってしまいました。議会の事についても触れないわけにはいきま

町は今年度から人口減少対策を重要課題として取り組んでいますが、議会も行政と共

鋭意努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

# 白

糠高校の公民科を選択している生徒24名が定例会初日（9月12日）に来庁し、一般質問を傍聴しました。

傍聴席は一般の傍聴者や報道関係者を含めた30人を超える人で埋まり、時間の経過と共に気温や湿度が上がっていきましたが、生徒は真剣な眼差しで1時間にわたって議会を傍聴し、その真摯な姿勢は議場をいつにも増した討議の場へと変えていきました。

高校生にとっての学習機会でもあり、議会にとっても緊張感の増した第3回定例会。

議会閉会后、白糠高校のご協力により傍聴した生徒の感想文を提出いただいたので全文掲載いたします。

※傍聴した内容は福地議員の「糞尿とその臭気対策について」、中河議員の「一次産業の取り組みについて」の2件です。

## 白高生はこう思う



1 大住 晃多

議員のみなさんが一生懸命まちのことを考えてくれているとわかりました。災害対策など身近な問題には興味がありました。



2 田中 涼真

議員の臭いの件や酪農家の減少問題についてなど様々な議題についての話し合いを今回の議会訪問で見て学び、白糠町の町長さんや行政、議員の方たちは日々、白糠町やその周辺の人たちの暮らしについて考えているのだと思います。また機会があれば傍聴してみたいと思いました。



7 目黒 優太

の話が一番印象に残っています。恋問館周辺は僕もバスで通るときいつも気になっており、対策して欲しいと思っていました。この議会でしたっけ、対策の考えを聞いて納得しました。臭いの原因がワクチンセンターからと知ったときは大変驚きました。これからも町のために頑張ってください。



6 星野 友希

議員のひとたちが一生懸命町のことに話してました。自分が想像していたのはテレビでやっている国会中継のような感じでしたが全然違いました。町長さんをはじめ、行政、議員のみなさんが町を少しでも良くしようとしているのかっこいいと思いました。



8 小玉 弥生

ふん尿の臭いの問題を聞いて、以前テレビ番組で似たような問題を扱っていたのを思い出しました。白糠町ではすごく真剣に考えているのだなと思いました。

[白糠高校特集其の弐 議会傍聴感想文]

# 白高生、現る

これからも素晴らしい白糠町のまちづくりのために頑張っていたのだと思います。



3 千葉 楓太

白糠町議会を初めて見ました。みなさんが真剣にわが町白糠について議論をかわしていました。白糠のふん尿問題や川の増水などの災害問題が現在の課題だとわかりました。

僕も4歳の時からこの町で育ってきました。議会を傍聴することで白糠町の問題について関心をもちました。ぜひ、機会がありましたら見に行きたいです。とてもいい経験になりました。どうもありがとうございました。



4 土井 慎太郎



9 佐藤 碧唯

確かに恋問のあたりの臭いは気になっていました、身近な問題を議論していたので良かったと思いました。タクシーの問題については傍聴できませんでしたが、2台しかないのは苦しいと思います。先日、タクシーを呼んだら、「30分かかります」と言われていて10分で来ました。また、「音別に行っていたから（来るのが）無理になりました」といわれました。



10 村上 晴菜

初めて議会を拝見させていただきました。難しい問題も数多くありますが、町長さん、行政、議会のみなさんがた

初めて議会を見て、あんなふうで議論するのかと思いました。空き家対策のことや台風、糞尿の臭いなど色々話をしました。町長さんは「言い訳になるのですが」と繰り返している時が結構ありましたが、「何か怪しい、対策のことは全然思っていないでしょ」と思わせてしまうので、その言い方をやめた方がいいと思いました。



5 埴 雄斗

議会は暑く、集中力も途切れてしまいました。また難しい言葉が時々あり、聞き取れない部分もあつたと思います。

とても貴重な体験をさせてただいてありがとうございます。農家の方の経営が大変だということをはじめて知りました。また、ふん尿の臭い



11 大和 夕奈

今回は議会を見に行き、とても良い勉強になりました。普段私たちが抱えている問題などを知らないうちに話し合っていてくださったことがうれしかったです。

初めての議会見学だったので少し難しく聞き取れない部分がありました。白糠町には今、たくさん問題があり、解決できていないのが現状なのだと思います。個人的にはタクシーの営業時間を元に戻してほしいと思います。利用する人は少ないとは思いますが何かと不便です。



12  
ふん尿の臭いはしかたがない部分があると思います。しかし、それを改善しようとして頑張った対策をしようとして話し合われていくことに驚きました。観光客の方は臭いに慣れていないから、辛いかもしれないので、改善できたら嫌な思いをしないと感じました。議場はとても暑くて辛かったこと、話が分かりにくい所もありましたが貴重な体験ができました。



13  
議会の人たちの話を聞いて、地域を良くしようとしていく対策や意見を多く聞けました。町のために色々な意見を出して改善する方法を探し、案を出して話し



14  
白糠町のことを考えてくださっていることがわかり見学に行けて良かったです。白糠で川が増水したときの対策を考えていることがわかりました。



15  
議員のみなさんのやりとりを見て、ふん尿について、臭いを変える対策ができるが、その薬はまだ安価でないことがわかりました。難しい言葉や言い方がよく出てきました。良い議論が聞けてよかったです。



16  
すごく難しい話をしていて理解できませんでした。みなさんの声も聞きとりにくい部分がありました。議員さんたちは暑い中たくさん質問してとても頑張っているなと思いました。



17  
初めて議会を見ました。難しい言葉が使われており、あまり意味がわかりませんでした。ひたすら集中して聞きました。議会は暑かったですがためになる話を聞きました。色々議論してもっと地元が良くなり、町民がよりよい生活を送ることができればいいと心から願っています。



18  
声が聞き取りにくい場面もありましたが、議員の方が堂々と質問していたので良かったと思います。クーラーをつけないと熱中症になるのではないかと心配になりました。



19  
白糠町について色々考えて下さっていると思います。現在のところだけでなく、何年後の未来のことをしっかり考えて話し合っているのだと思いました。普段、議会は見に行かことがないので行けて良かったです。私の家の近くでも何年前に農業をやめてしまっている家もあるので、酪農の激減などにも興味を持ち



20  
議会や行政、町長さんが何をしているかよく知らなかったのですが、今日の議会傍聴で色々なことをやっているのだなとわかりました。みなさんの性格が出ていて興味深かったです。



22  
たくさん質問しているのが印象的でした。町民の方のことも大切にしたいけれど経済的な面もあって、対策が難しいこともあるのだと知りました。自分が知らなかったことをたくさん話し合っ、実施しているのだと実感しました。臭いも含め、町の環境整備は大事なことでと思いました。



21  
議員の方たちの質問や訴えには迫力を感じてすごいと思いました。ただ、難しい言葉がつかわれて分からない場面がありました。臭い対策については何とかしてもらいたいと強く思いました。



質問に対する回答が「〇〇を頑張っている所」「〇〇に努めている所

「白糠高校特集其の式・伍」

開け！ 慶応大学への扉

昨年から取り組んでいる白糠高校の魅力化。これまでの支援策や取り組みでは大きな変革が困難なことから、町では専門的な知識や経験を持つ外部からの支援をお願いすることとし、他の廃校寸前の学校を魅力化により蘇らせた実績のある藤岡慎二さんに協力を仰ぐこととしました。

これから魅力化に向けて様々な取り組みが始まりますが、その第一弾として9月8日に町民向けの講演会が行われたのでその主な内容を掲載いたします。

○AI（人工知能）の発達により10年から20年後には現在の職業の半分は消滅すると言われている。

○社会の変化に合わせて教育制度が大きく変わる。現在の中学三年生の年代から、明治維新以来最大と言われる教育改革が行われる。



- これからの時代に必要な学力の三要素
- (1)知識
  - (2)思考力・判断力・表現力
  - (3)主体性・協働性・多様性
- 学力だけでなく良質で安価な映像授業でも向上する。
- その先の、進学等で地元を離れても将来戻ってきて自分の夢を地域でかなえる「ブーマラン人材」、地域と世界を繋げる「グローバル人材」を育てることが必要。

- これから開設する公営塾では地元で能力を眠らせている人材にも講師になってもらう。地域が子どもを育てることが地元愛を育む。
- 偏差値35の生徒が偏差値70の慶応義塾大学に進学した例がある（現在大学3年生）。
- 問題は紙の上ではない。目の前にある。頭と身体と心が一緒に学ぶ環境の中で育つ事が大切。

ふじおか 藤岡 慎二 さん



(株)プリマペンギン代表取締役 北陸大学経済経営学部教授



# 第三回 定例会

平成29年第3回定例会は9月12日に開会し、2日間の日程で行いました。初日は町長からの行政報告の他、7人の一般質問を行いました。2日目に補正予算、条例改正、意見書の提出等について審議し、閉会しました。

## 補正予算

◆除雪経費7000万円等を補正

一般会計補正予算において、冬場の除雪経費に7000万円、町営バスの購入に1186万円、白糠高校の魅力化に取り組む経費として512万円、移転するチセのモニユメント作成及び案内看板設置費用に1807万円、高齢者等への福祉灯油助成事業に429万円等、

### 質疑・答弁

合計1億3317万7千円を追加し、予算総額を100億57万4千円としました。

#### ◇チセのモニユメント

● 本体工事に含めて実施した補助対象になったのではない。  
● 国モニユメントについては国の交付金の対象外。

● 作成者は決定しているのか。

● 図一つはシマフクロウが羽を広げているような物になる予定だが、道内でも作成できる人が限られる。札幌の業者から参考見積もりを貰っている状況。  
● もう一つの丸木舟については、現在チセに展示しているものをモニユメントとして設置する予定。  
● 白糠高校の魅力化  
● 公営塾は来年4月からスタートするの。  
● 4月から始めたいが今後白糠高校と協議して決定する。



魅力化に向けた講演会(9月7日)

## 条例の改正

◆バス購入基金条例

従来バスの購入に限られていたものを、停留所の標識やバスターミナルの施設整備等にも使用できるように改正しました。

### 質疑・答弁

● バスターミナルの改築や解体の費用に使うという事か。  
● 改築や解体の具体的な案はないが、地域公共交通活性化協議会で検討していく。

## 工事請負契約の締結

◆チセの改築工事

● 本年8月29日に入札執行したチセ改築工事の請負契約の締結。

### 質疑・答弁

● 入札業者数と落札率は。落札率は94・95%。  
● 建物は平屋なのか、二階建てなのか。木造の場合、材料の調達はどうするのか。

● 図木造平屋。  
● 木材については留辺藪あたりに構造材があると聞いており、地元の木造業者を經由して調達する。



建設予定地(老人福祉センター跡地)

## 意見書の提出

● 意見書案が提案され、原案のとおり可決し各関係省庁に提出しました。  
● 意見書文は紙面の都合上省略させていただきます。

● 意見書案第2号  
● 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求め意見書の提出  
● 提出先・衆参両議院議長他

● 意見書案第3号

## 固定資産評価審査委員の同意

● 本年9月30日に任期満了となる固定資産評価審査委員について、新たに3年間の任期で選任の同意をしました。  
● 峯田 悟

## 行政報告

◆英語指導助手ラドノビチさん着任

● 新しい英語担当の外国語指導助手としてラドノビチ・キヤラン・ジェイさんが着任しました。  
● ラドノビチさんはアメリカ合衆国アイダホ州の出身で、ゴンザガ大学を今年の5月に卒業して来日しました。  
● 高校時代から日本語の授業を選択し、秋田県の大学に短期留学した経験もあります。今後は町内の幼稚園から中学校まで、日常的な英会話を中心に英語指導を行っていきます。

## 議員の派遣

● 釧路町村議会議長会主催による議員研修会への派遣を承認しました。

◆議員研修会  
日時 平成29年11月7日  
場所 標茶町  
対象 全議員



ラドノビチさん

## 緊急質問

● 福地議員が緊急質問の申し出を行い、議会の同意を得て弾道ミサイル発射について質問しました。

● 北朝鮮が発射したミサイルが襟裳岬東方沖に落下したが、緊急情報の周知が不十分で危機管理上大問題である。認識と対処法について伺う。

● 図国連の制裁がどこまで効果があるのか諸説言われているが、今後も危険性があると認識している。  
● 緊急情報の周知が聞こえ

● 冬期間の工事については河川の浚渫や公園の遊具改修を予定している。

#### ◇町営バスの購入

● 2台購入するバスはそれぞれ何人乗りなのか。  
● 図小型ワゴンタイプで10人乗りと14人乗り。

#### ◇福祉灯油助成

● 福祉灯油の実績執行率は。図平成26年が77%。平成27年が81%。平成28年が82%。

● にくいというのは全国共通の課題。戸別受信機を設置できれば良いが受信機とアンテナで1台8万円要する。更には現在の電波帯では受信感度が悪い。国に対して電波帯の問題解決と受信機を安価で設置できるように要請している。

● またミサイル発射時に数分の間でどう対応したら良いのか、統一的な見解を早期に示すよう全国町村会から国に要請している。  
● 「児童・生徒」への対応について伺う。

● 図当日は登校前の時間だった為、通学路と学校敷地内の安全を確認した上で通常通りの登校とした。また保護者に対し、政府広報にしたがい出された落下時の行動等を記載した文書を配布した。

● 今後関係機関と協議をしながら出来ることから対応していきたい。  
● ※緊急質問より一般質問の締め切り(定例会約2週間前)後、天災地変やテロ

## 議員表彰

● 議会議員として15年以上在職し功労のあった者として、北海道町村議会議長会より福地議員が表彰を受けました。



福地議員

## 第二回 臨時会

● 8月9日に臨時会を開会し、空席となっていた議長に富田議員が就任しました。(3Pに挨拶掲載)

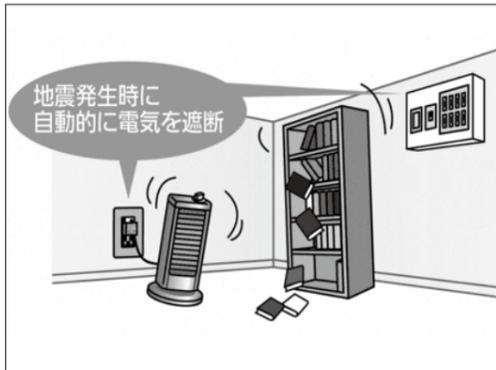
- 富田議員の議長就任に伴い、下記とおお委員会の構成も変更となりました。
- 富田→折出
- 富田→折出
- 富田→小池
- 富田→立石
- 総務文教常任委員会副委員長
- 議会運営委員会委員長
- 議会運営委員会委員長
- 広報調査特別委員会委員



中村 仁志 議員  
Nakamura Hitoshi

## 「感震ブレーカー」設置できないか

町 普及啓発を実施していきたい



設置が進む感震ブレーカー（参考例）



衣類や建材等にも利用できる産業用ヘンプ

■地震の際に起こる通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」は揺れを感知して自動的に電気を遮断する装置で、断線電源コードや倒れた電気ストーブなどが発熱して起きる通電火災の防止に有効とされ、是非とも町において設置促進のために行政の積極的な協力のもと町内会での共同購入を推進すべきと思うが町の見解を伺う。

■地震の際に起こる通電火災を防ぐ「感震ブレーカー」は揺れを感知して自動的に電気を遮断する装置で、断線電源コードや倒れた電気ストーブなどが発熱して起きる通電火災の防止に有効とされ、是非とも町において設置促進のために行政の積極的な協力のもと町内会での共同購入を推進すべきと思うが町の見解を伺う。

町 引き続き調査研究を進めたい  
■先月、北海道で大麻取締法違反の疑いで栽培者が書類送検された。後日不起訴になったが、町も今後ヘンプに対する政策に影響があると思うが考えを伺う。

「との発言があり、審査や指導の徹底を前提に引き続き産業用大麻の取り組みを推進する考えを示したので、町においてもこれまでと同様に北海道の取り組みと歩調を合わせて産業用ヘンプ可能性検討委員会において情報収集に努め、地域における理解の醸成を図りつつ、引き続き調査・研究を進めていきたい。



Ishida



Ono



Nakamura



4 折出 征清 議員  
空き家バンク事業について

1 中村 仁志 議員  
「感震ブレーカー」設置促進について 他1件

5 福地 裕行 議員  
町民の雇用について 他3件

2 小野 キサ 議員  
社会福祉センター内女性用トイレについて

6 中河 敏史 議員  
一次産業の取り組みについて 他1件

3 石田 正義 議員  
台湾新北市烏来区との友好協定について 他3件

7 鎌田 民子 議員  
電力小売全面自由化にともなう町の対応等について 他1件

一般質問は7名の議員が登壇し、「『感震ブレーカー』設置促進について」等16件21項目について質問を行いました。



Kamada



Nakagawa



Fukuchi



石田 正義 議員  
Ishida Masayoshi

## 台湾烏来区との具体的交流内容は

### 町 青少年の交流等を検討している

■今後、文化・教育で交流深化へとのことであるが、具体的内容を伺う。

■昨年、白糠アイヌ協会と烏来区原住民編織協会の友好交流提携締結を契機に文化交流によるつながりが培われてきた。今後はアイヌ三大祭りや町内イベント（大漁まつり、花火大会、カミングパラダイス）等への招聘、工芸品や民族資料の交換展示、青少年の国際交流による異文化理解などを検討している。

■烏来区の方々は団結力があって明るい性格と感じた。今回58名の訪問に北海道から750万円、町から170万円の費用が出ていると聞く。将来にきちんと効果を残していかなければならない。

■北海道と台湾、観光にも大きな力をいただいている。我々もその一助となりながらアイヌの方々、また青少年の有意義な交流になっていけばと思っている。なお、烏来区の学校と異文化交流を進めていく話など、既に効果の兆しは出ている。

※7月13日からの台湾訪問の様子を19ページに掲載。

■8月8日に庶路中学校前の横断歩道で青信号にもかかわらず中学生がライトバンにはねられる死亡事故が起きた。8月10日には釧路市昭和のT字路交差点で自転車に乗っていた小学生が軽自動車と衝突して右足を骨折する事故が起きた。北海道警察は各教育委員会に注意喚起をしたとの事である。

### 町 生徒と保護者に注意喚起を行った

■小中学生の交通事故をどう防ぐ



烏来区を訪問した際の記念撮影

■ヘンプ（産業用大麻）は麻薬成分が低く、繊維や内装材など多様な用途に利用があると聞く。北海道は有望な作物として調査研究を行うとのことであるが内容を伺う。

■北海道知事は産業用大麻は作物になる可能性があり、試験栽培を通じ今後も調査・検討を進めるとしている。北海道の動向と足並みを揃え、指導と助言を得ながら事業を推進していく。

### 町 北海道と足並みを揃えて進める

■ヘンプは今後どうなる

■寄付を受けている公園はありますか。

■乳呑公園1カ所、約10ヘクタール。草刈り年4回の他、トイレ清掃等を行っている。桜の木があり、花見の時期には地域の方々や高齢者等も来ている。地権者の方の意見も聞きながら今後も維持管理に努める。

### 町 草刈り年4回、トイレ清掃月3回等

■町の管理している公園は何か所か。また管理状況について伺う。

■都市公園が26公園、自然公園2公園、計28公園。そのうち25公園を業務委託により管理している。

■内容は公園清掃の他、草刈りを年4回、トイレ清掃を月3回。遊具を設置している公園は専門業者が安全点検を年一回実施し、景観の整備と利用者の安全確保に努めている。

### 公園の管理状況は

進んでいく。



小野 キサ 議員  
Ono Kisa

## 社会福祉センター内女性用トイレは改修・増設が必要

### 町 不便さの解消を早期に検討する

■町内の公共施設の中で年間利用者が1万8000人と多い社会福祉センター内女性用トイレは内部の狭さと戸数不足で大変不便を感じている。センター利用者の占める女性の人数及び年齢層からも女性用トイレの改修・増設が必要ではないか。

■社会福祉センターのトイレは施設の長寿命化を図る改修の中で利用者の要望等を勘案して、

・平成21年度に車いすの方も利用できる多目的トイレを一カ所新設。

・平成23年度に女性用及び男性用トイレの全てを温水洗浄機付洋式トイレに改修。

■洋式便器への改修は、当初大変喜ばれていたが利用が増すにしたがって女性や高齢者から狭さと個数不足の声が寄せられるようになってきた。

■施設の利用状況や建物構造等を考えると、更なる改修や増設は困難を極めるが、利用者の切実な実情を踏まえ、トイレの手狭さと不足について改めて検討していく。



ドアを閉めると便座との間が非常に狭い



トイレは全て洋式で個室の数は三つ



狭隘な為入口に対してトイレを斜めに設置



平成21年に新設された多目的トイレ

■現時点での検討内容は？

■個室の拡大及び増設について所管する教育委員会と建設課で検討する。

### ■実施予定時期は？

■改修内容を検討した後、予算について協議を進めなければならぬ為、それらを経た後、出来るだけ早い時期に取りかかりたい。





鎌田 民子 議員  
Kamada Tamiko

## 新電力への対応、今後の取り組みは

### 町 慎重に取り進め、総合的に判断する

【問】平成28年第一回定例会で質問した際「災害や緊急時にも安定した需給確保等を前提とした上で、北電や新電力の参加等を確認し、入札の導入など電気料金の負担軽減が図れるよう検討する」との答弁があった。その後検討した内容を問う。また、働きかけのあった会社は何社あったのか。

【答】大手新電力会社（日本ロジック協同組合）が電力事業から撤退するという事象もあり、このことから電気料金の安さだけではなく、確実性・安全性を重視し、管内市町村の動向も注視していた。

【問】確実性・安全性のリスクが伴うことから、各会社の国の許認可状況、契約実績、供給地域、高圧分野、再生可能エネルギー、入札状況等の情報収集に努めていた。416事業者の登録があるので、今後とも慎重に取り進め、総合的に判断する。

【答】セールズに訪れたのは1社。

【問】北電の平成25年度、26年度の二度の値上げによる影響額を問う。

【答】平成25年度の使用電力は



【問】高圧で受電している17施設の電気料金は年間6600万円支出しているとのことだが、仮に新電力会社に契約変更した場合の程度削減出来るのか。

【答】現段階での新電力への移行にはまだ不安定要素が多く見受けられたことから電気料金の削減額は算出していない。

【問】「道徳」の「教科化」で心は育てられるか

【答】実践する力を培うことが目標

【問】「道徳」が正式教科になり、教科書検定に合格した教科書で授業することになる。平成27年第二回定例会でも質した経過があるが、具体的に変わった現時点での「教科化」に対する考えを問う。

【答】道徳の授業は正解を求めたり、価値観を押し付けたりする性格のものではない。多様な見方や考え方をする中で、よりよく生きていくためにどうしたら良いかを考え、実践する力を培う事が目標となる。

【問】教科書採択の経過と現状、教育委員の意見等について伺う。

【答】教科書採択については、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町で構成されている第13教科用図書採択地区教育委員会協議会の規約に基づきとり行われた。本町の教育委員の会議では「採



択された教科書を改めて拝見したい」「教科とはいえ、道徳の特性から独自の評価が必要になると思うが、いかがか」などの意見が出た。

【問】道徳性を育てることは非常に重要な教育の課題。しかし、教科化で「評価される」ことにより、子どもたちが「本音」と「建前」を使い分けるような道徳の授業にならないか。

【答】教科書を教えるのではない。どんな心におとしていくのか。正解、不正解を出すのは道徳性を培うものにはならない。白糠の先生方は心配するような指導はしない。



中河 敏史 議員  
Nakagawa Toshifumi

## 一次産業の振興と再興の進捗は

### 町 地道な努力を傾注している

【問】町は一次産業の振興と再興を重要課題として取り組んでいるが、搾乳農家を例に挙げれば平成17年の82戸から平成29年の43戸と激減している。現在までどのような振興、再興を行ってきたのか、水産業、林業と併せて伺う。

【答】町農協と連携のもと基幹である酪農業で頑張っている人をしっかり応援する。さらに地域の特性をいかした野菜生産の人材育成と自立を促す体制を構築する。

【問】水産業では、前浜の貴重な水産資源を守りつつ地域資源の有効活用を図ってきた。林業では山をつくり育てる原点に立ち返り、循環型の林業、林産物の再興とヤナギの利活用の取り組み。民間企業の誘致により木質バイオマス発電の立地が進められ波及効果が林産業界に現れてきている。

【答】一次産業の振興により新たな雇用の創出、所得の向上に結び付けるとともに人口減少対策に努力していく。



【問】新規就農の受け入れについて、多くの市町村では新規就農者への受け入れ条例、もしくはマニュアルが整っている。白糠町でも作成する必要がある。

【答】新規就農者の受け入れのための条例等を制定している市町村があることは把握しているが本町は策定していない。新規参入する場合それぞれの機関がうまくマッチングする必要があり、経営規模の指標を示す必要がある。

【問】野菜生産での新規就農を目指す、農業支援員として活動していることもあり、町としては基幹である酪農業を守りつつ、野菜生産、あるいは畜産

## 防災対策は万全か

### 町 避難体制の強化に努める

【問】昨年、北海道にもたらした台風の被害が道内ではいまだに復旧されておらず、特に雨による増水の被害が残っている。わが町でも市街地の一部が低く影響が懸念されるが十分な体制がとられているか。

【答】1時間あたりの雨量が30ミリメートルを超えると国道から南側の市街地の一部が冠水し、更には茶路川などの下流域の氾濫などが懸念される状況がある。

【問】防災対策に関しては北海道に対し「氾濫を未然に防ぐ河川整備等について」の要望を行っているっており、先行して茶路



川、庶路川の一部堤外で立木の伐採や浚渫などにより流量確保に努め、避難体制としてはハザードマップによる啓発や防災無線を活用し被害防止に努めている。

【問】いずれにしても異常降雨による冠水・浸水に対しては、生活排水施設と臨時の排水ポンプをフル稼働させ、更には9カ所の災害排水用ポンプを効率的に活用しての対策と、あわせて適切な情報の伝達による避難体制の強化に努めていきたい。

# 追伸 台湾にも行ってきました。

白糠町と台湾新北市烏来区が友好交流提携を結ぶにあたり、町長他行政職員、白糠アイヌ協会、白糠駒踊り保存会並びにくしろ蝦夷太鼓保存会と共に7月13日から3泊4日の日程で台湾を訪問してきました。

今回の友好交流は将来的な子どもたちの交流も視野に入れた提携であることから、そういった視点で現地を訪問しましたが、飲食や衛生面が問題ないのは当然の事として、親日的で日本文化に対する関心が高い事、自然が豊かな事等、交流先として

非常に良いパートナーであると感じてきました。

以下は故丸子議長に代わって議会の代表を務めた石田副議長の解団式の挨拶です。

「この調印式が、町の未来を担う子供たちにとって台湾との交流のスタートとなり、今回の訪問でまたこの種は、きっと5年後、10年後に我が町白糠と、そしてここ台湾で大輪の花を咲かせることと思えます(抜粋)」

※訪問の詳細は町広報8月号及び9月号をご覧ください。 ホームページ [www.town.shiranuka.lg.jp](http://www.town.shiranuka.lg.jp)



①台湾訪問議員(左から小野、福地、小池、烏来区長、石田、折出、中村、富田、岡嶋、立石、山吉、烏来区原住民総族長)  
 ②調印式の様子 ③議会からの記念品贈呈(ピンカンワ氏の白糠町の絵) ④結団式の様子  
 ⑤新北市の小学校校長等との名刺交換 ⑥烏来区の歓迎夕食会 ⑦タイヤル文化祭のステージ  
 ⑧タイヤル文化祭の輪踊り1 ⑨タイヤル文化祭の輪踊り2

# 拝啓 委員会もやっています。

総務文教常任委員会 7月21日～8月30日 2回開催

## 弟子屈の消防庁舎を視察。機能性に優れた驚きの設備！

前回の委員会で消防庁舎の移転場所については栄1区パークゴルフ場・栄公園への建設が望ましいという取りまとめをしましたが、庁舎の機能についても調査が必要なことから、8月30日に消防職員や消防団員と意見交換を行い、その後今年7月に稼働した弟子屈の消防庁舎を視察してきました。

白糠消防との意見交換の中では、以下のとおり現場にいる者にしかわからない様々な意見・要望がだされましたが、その後視察した弟子屈の消防庁舎は白糠消防に足りないものが全て整備されており、その機能性や快適性に驚かされました。

### 【消防からの意見】

・3交代制により一つの机を日替わりで3人が使用

しているが、それぞれ個別の業務に関わる書類もあることから机に収まらない。袖机が必要。

・事務室と放送室が併設されているので放送する際に事務室の電話の音等が入ってしまう。

・仮眠室が相部屋であり心身の衛生上良くない。

・車庫が狭く、標準規格の車両が入らない。(今年購入した車両は2メートル分シャーシを切っている)

今後は消防からの意見や今回の視察で感じた各委員の案を集約するとともに、今年新築された厚岸町や北見市留辺蘂町の消防庁舎を視察することも検討しています。

(小野、折出、岡嶋、山吉、石田、富田)



産業厚生常任委員会 8月25日 1回開催

## ヤナギ栽培は出来るだけ早い時期に実用化！

町が取り組んでいるヤナギ栽培事業については、将来的にオガ粉に加工し家畜の敷料やキノコの菌床として利用する案、セルロースナノファイバーとして利用する案等が検討されていますが、具体的な実現化の目途について町に質したところ、

・道内のきのこ生産者と調査を進めており、安定供給と単価について協議している。

・平成31年度には町内企業がきのこの栽培を行う計画になっている。

以上の説明を受けましたが、委員からは

・単価の折り合い等で事業化に疑問がある。

・町民の雇用に繋がるのか。

・ある程度で事業を終わらせなければならない。といった意見が出されました。

最終的に町は「出来るだけ早い時期の実用化に向けて努力する」という回答でしたが、この問題は今後も引き続き調査を継続していきます。

※その他、町から公共交通ネットワーク及び一般廃棄物最終処分場について経過説明を受けました。

(中村、立石、中河、鎌田、福地、小池)

※( )は委員会に所属している議員名です。また、上記の他に広報委員会を2回、議会運営委員会を5回開催しています。



## 「白糠高校特集其の参 OBインタビュー」 白高生、社長になる

まちづくり等に対する町民意見を掲載する「傍聴席から」。  
今回ご登場いただくのは、白糠高校OBで現在は町内で人材リサーチ会社を経営されている盛内文雄さんです。

### 都会を従えた 田舎の社長

※ヘッドハンティング～優秀な人材を探しだして引き抜くこと。  
――あまり馴染みがないので、まずは人材リサーチという仕事の具体的な内容を教えてくださいませんか？  
【盛内さん】IT企業や製薬会社等に人材を紹介して手数料を頂いていますが、簡単に言うとヘッドハンティング（※）の会社ですかね。  
――会社の概要は？  
【盛内さん】平成24年の1月

に会社を立ち上げて、現在の社員数はパートさん8人を含めて35人。本社は白糠で、東京と大阪に支店を置いています。それと昨年アメリカのサンタモニカに現地法人を立ち上げました。ちなみに社員の4割はスペインやインド、中国等外国籍です。  
――本社が白糠で東京を支社にしている理由は？  
【盛内さん】もともとは東京の外資系人材リサーチ会社に勤めていたのですが、親が病気を患った事をきっかけに前職を退職して白糠に戻ってきました。親の体調が落ちていた事と昔から何かのタイミングで起業しようと考えていたので、平成24年に白糠で会社を立ち上げました。  
その年の12月には東京に支店を開いたのですが、本社は

移す理由も特にないのでそのまま白糠にしています（笑）。  
――白糠で起業する上での障害は？  
【盛内さん】この仕事はオフィス、電話、パソコンがあればいいので何の障害もなかったし、逆に都会よりもコストが抑えられるので白糠で起業して良かったですよ。  
――現在の社員数は東京の方が多くようですが、白糠に会社を残しておくメリットは？  
【盛内さん】白糠では4人のパートさんにインターネットで人材を常に探してもらっています。他の人材リサーチ会社ではこういった人探しの専門チームはありません。あってもマレーシアとか海外に事務所を置いていたりして、コミュニケーション等

を考えると国内にこういったチームを置いてるのはメリットがあるし、また首都圏と比べて離職率が低いので、社員が長く在籍することで質の高いサービスを提供することができています。  
――会社はこれからどう展開される予定ですか？  
【盛内さん】現在は先ほどお話ししたIT企業や製薬会社、その他に保険会社、金融機関と取り引きをしています。これからは消費財メーカーまで対象を広げたいと考えていて、そうなるにつれて専門知識をもっている社員が必要になるので、そこを拡充していきたいと思っています。  
――白糠の社員も増員する？  
【盛内さん】まずは東京の採用を増やして、そこが一段落



年2回実施している全社員ミーティング後の様子

### 白糠高校で良かった。本当に。

――学生時代のお話を伺います。昭和63年に高校に進学されていますが、どうして白糠高校だったのですか？  
【盛内さん】小さな頃から始めていた柔道を高校でも続けたくて、地元でもあるし管内でも強豪校だったので白糠高校に進学しました。  
――高校時代の楽しかった思い出を何か。  
【盛内さん】何ですかね、何をやっても楽しかったです（笑）。部活もそうだし、教室でくだらない事を友達と話している時も楽しかったです。楽しくなかったのは勉強くらいかな（笑）。  
――振り返ってみて、白糠高校に進学して良かった？  
【盛内さん】白糠高校で良かったですよ。高校でやりたかった柔道が出来て、指定校推薦で札幌大学に進学して柔道が続けられて、そして柔道

を教えるために青年海外協力隊でケニアに行つて視野が広がって。今の自分に繋がる全てがそこになるので、本当に良かったと思っています。  
――会社の話と混ぜられますが、社員やヘッドハンティングする対象者は有名大学を卒業したり、かなりの高学歴ですよね。何か戸惑いや違いを感じることはありませんか？  
――自分が正直にやっていたらいい

者が多いから振り分ける材料として卒業大学とかでまず選考していくけれど、うちの会社は学歴では選ばないです。日本人スタッフの中には海外の大学や早稲田、法政等を卒業している社員はいるけれど、人を紹介する仕事上、コミュニケーション能力とか、文章の行間を読む力とか、そういうところを重視しています。  
――最後に、白糠の良いと感じるところと悪いと感じるところを教えてください。  
【盛内さん】良いところは、静かなところ（笑）。仕事に集中できて良いと思う。悪いところは…、無いかな。  
（8月15日 ㈱タリスマン事務所にて）

### 関心があることを 自分に正直にやっていたらいい

【盛内さん】情報処理とか専門的な勉強をしてきた人間は別だけれど、他は違いを感じないというか、田舎の高校・大学の卒業だけどころからも人材ビジネスの専門家としてやってきたので、仕事の上での学歴等による差を感じることはないですね。  
――社員は学歴等では選ばない？  
【盛内さん】大手企業は応募

今この話と併せて、在校生に何かアドバイスやメッセージをお願いします。  
【盛内さん】好きなこと（笑）。と言うのも、10年前と今を比べても全然世の中が変わっていて、当時こまですスマホが普及して生活の中心になってくるとは思っていませんでした。これからの10年今とは全然変わってくると思うんですよ。AI

### ◆一筆御礼◆

社長然とした感じがなく、どこか捉えどころのない雰囲気盛内さん。本社を白糠に留めている理由については「郷土愛」や「白糠への恩返し」といった回答がくるかと思いきや、「特に理由がない」というまさかのコメント。一体どこまでが本心なのか最後までつかめませんでした。が、グローバルな仕事をしている人とはこういうもの？とも感じました。いつか世界を相手にする企業へと成長した時、また議会広報にご登場ください。その時は「白高生、ビッグアップル（※）を喰う」として。  
※ビッグアップル～世界経済の中心と言われるアメリカニューヨーク市の愛称



もりうちふみお  
**盛内文雄 さん**  
45歳  
㈱タリスマン代表取締役  
趣味：仕事（笑）。なんだろう、登山？ とりあえず11月には二度目のキリマンジャロ登頂に挑む予定です。

【おしらせ】貴州屋さんからのご提供「昼食時(12〜13時)にランチをご注文の際「議会だよりみたよ」で50円引き。  
白高生なら300円引き※要学生証。(本年11月末迄。お一人様一回限り)



「しらぬかい店  
こんな店」

## 貴州屋

今号で紹介するのは白糠で唯一の寿司屋として旬の味を提供している「貴州屋」さんです。

お店の人気はなんととっても、新鮮な魚介を使った生の「握り」と店主(小濱美津男さん)の「語り」。この道48年になる店主の握りは秀逸。しかし客にお世辞を言うわけもなく、どちらかと言うと口の悪い店主の語りがどうして人を呼ぶのかは大きな謎。

そんな不思議な店主のいる寿司屋ですが、実は現在のお店の勢いを加速させたのは息子の辰也さん。町外で料理修業を積んだ後、平成18年に白糠に戻るとそれまではなかった居酒屋料理や甘味物をお店のメニューに加え、若者や女性客といった新規の顧客を開拓。更には同時期に始めた季節限定メニューが旅行者等の口コミで評判となり、今時期に提供している、シシヤモのコース料理は

釧路や遠くは東京からも客が訪れる程の人気となりました。

将来を見据えて今年の5月には25年振りに店内を改装。暖簾をくぐると明るく洗練された店内で、辰也さんの一人娘の結花(ゆいか)ちゃんが可愛い笑顔で出迎えてくれます。

住所：白糠町東二条南一丁目  
電話：(2) 3783  
定休日：日曜・祝祭日(ランチのみ月曜も休み)



生ちらしランチ1,000円!!

結花ちゃん(1歳)

旬魚の刺身盛り



「今号の表紙」



▼今号の表紙を飾ったのは、見事な演奏でカミパラ(9月9日)のオープニングを飾った白糠高校吹奏楽部の皆さんです。

自己保身に汲々とする大人の事情で思うように企画が進まない中、生徒の皆さんと田部先生には大変お世話になりました。

裏表紙にご登場いただいた貴州屋さん。辰也さんが白糠高校OBで、「白糠高校特集だったら」という事で白糠高校生限定の特別割引を提供いただきました。白糠商人の心意気に感服です。



「あとがき」

8月29日と9月15日の早朝、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが北海道上空を通過し、襟裳岬東方の太平洋上に落下しました。

全国瞬時警報システム(Ｊアラート)や携帯電話への緊急速報メール等で驚かれた方、対応に戸惑った方が多くいたのではないのでしょうか。

アメリカと牽制しあう中でこうしたことはこれからも起こる可能性があります。ありますが、何とか平和的解決に至らないかと願うばかりです。

◆ 昨年に続き白糠高校の生徒が傍聴に訪れました。感想文には書かれていませんが、傍聴後の雑談の中では辛辣な声もあつたと聞いています。

地方議員に対する世間の目が厳しい中、町の若者達にまで「うちの議員も…」と思われる存在であつてはなりません。若者達の模範となるよう精進してまいります。

(折出)

